

# 飛躍

HIYAKU

第 235 号

TOKAI UNIVERSITY FUZOKU TAKANAWADAI SENIOR HIGH SCHOOL



東海大学付属高輪台高等学校 学校報

●発行日/2005年7月1日

●発行者/東海大学付属高輪台高等学校 校長・杉一郎

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate thy thought in thy early days

若き日に汝の体躯を養え

Make thy body vigorous in thy early days

若き日に汝の智能を磨け

Improve thy wisdom in thy early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Chain thy hope to the stars in thy early days

TOP\*NEWS

## 「東海大学特別奨励入学制度」による 54名の合格内定者、おめでとう 3学年の1割を越す合格率



54名の栄えある笑顔

### 「東海大学付属高等学校特別奨励入学制度」に54名が合格内定

「東海大学付属高等学校特別奨励入学制度」により、6月に3年生54名の東海大学への進学が内定しました。内定者は大学進学後、25万円の奨学金も授与されることになっており、まさに二重の喜びを得ることとなりました。

東海大学への入学がこの時期に内定するのは、東海大学の付属高校の大きな特色の一つです。また、自分が希望するどの学科へも（一部例外の学科あり）進学することができることは、大きな魅力となります。1・2年生の皆さんも、是非この制度を利用して、自分が第一希望とする学部・学科へ進学して欲しいと願っています。

この制度への出願条件は、①東海大学の建学の精神および教育目標を理解し、優秀な人物であること②1・

2年次学業成績の平均が8.0以上、3年次4月の「学園基礎学力定着度試験」での学園順位が上位であること。以上の2点の条件を満たしていることが必要です。その後5月中に各自が進学希望先の学科を選んだ「志望理由書」を作成します。適性審査を必要とする「文学部・看護系学科・芸術系学科」と高校在学中のスポーツ実績を必要とする「体育学部の一部の学科」以外であれば、どの学科でも出願が可能です。以上をもとにした資料を総合的に判断し、6月に内定者が発表されます。

この制度発足以来、高輪台高校の内定者数は毎年増加しています。ますます多くの生徒がこの制度を利用して栄冠を勝ち取って欲しいと思います。

# 「東海大学特別奨励入学制度」 合格内定者54名おめでとう

(学部・学科順)

採用者氏名	クラス	進学先(内定)	出身中学校
大津 広充	11組	文学部文明学科	品川区立八潮中学校
垣野 友亮	2組	文学部ヨーロッパ文明学科	川崎市立日吉中学校
柰津 治菜	3組	文学部歴史学科西洋史専攻	川崎市立宮前平中学校
鈴木 絢子	4組	文学部歴史学科西洋史専攻	横浜市立日吉台中学校
鈴木 友規	4組	文学部文芸創作学科	葛飾区立青葉中学校
高木 有香	1組	文学部英語文化コミュニケーション学科	墨田区立竪川中学校
上島 悠希	3組	文学部英語文化コミュニケーション学科	千代田区立九段中学校
若山 愛	3組	文学部英語文化コミュニケーション学科	台東区立忍岡中学校
松本 敏樹	4組	文学部英語文化コミュニケーション学科	大田区立南六郷中学校
鈴木 孝宜	9組	文学部英語文化コミュニケーション学科	大田区立安方中学校
田中 俊樹	2組	文学部広報メディア学科	川崎市立中原中学校
宮田 茜	8組	文学部広報メディア学科	江東区立深川第四中学校
横山 依子	8組	文学部広報メディア学科	荒川区立第五中学校
高橋 朋子	1組	文学部心理・社会学科	葛飾区立一之台中学校
滝本真奈美	3組	文学部心理・社会学科	北区立豊島北中学校
宮川 菜々	3組	文学部心理・社会学科	横浜市立上の宮中学校
小林 賢二	6組	文学部心理・社会学科	江戸川区立小岩第三中学校
大野由梨子	11組	文学部心理・社会学科	大田区立大森第六中学校
大澤 拓也	2組	政治経済学部経済学科	横浜市立篠原中学校
金田 明敏	6組	政治経済学部経営学科	川崎市立川崎中学校
佐藤 晃	7組	政治経済学部経営学科	大田区立安方中学校
植村 雄基	10組	政治経済学部経営学科	千代田区立練成中学校
山中 秀也	1組	法学部法律学科	北区立赤羽中学校
小柳 純一	5組	法学部法律学科	横浜市立日吉台中学校
田中 千恵	6組	教養学部人間環境学科自然環境課程	私立清明学園中学校
浜辺かな	1組	教養学部国際学科	川崎市立宮前平中学校
永山 智子	7組	体育学部体育学科	江東区立深川第四中学校
高柳 駿	10組	体育学部体育学科	墨田区立立文花中学校
東 美里	6組	体育学部スポーツ・レジャーマネジメント学科	大田区立南六郷中学校
遠藤 伸之	6組	理学部数学科	台東区立桜橋中学校
新田 和希	9組	理学部数学科	大田区立南六郷中学校
三浦 智	6組	理学部情報数理学科	文京区立第八中学校
原田 知幸	7組	理学部情報数理学科	上尾市立瓦葺中学校
藤本 拓也	7組	理学部情報数理学科	大田区立六郷中学校
眞田 雄司	8組	理学部情報数理学科	川崎市立今井中学校
佐野 晃平	8組	理学部情報数理学科	川崎市立橘中学校
竹中 和宏	8組	理学部情報数理学科	世田谷区立尾山台中学校
桐谷のぞ美	9組	理学部情報数理学科	横浜市立日吉台中学校
亀田 直幸	9組	理学部情報数理学科	品川区立戸越台中学校
五十嵐達也	11組	理学部情報数理学科	港区立港南中学校

(学部・学科順)

採用者氏名	クラス	進学先(内定)	出身中学校
三浦 広光	9組	情報理工学部情報メディア学科	江東区立深川第二中学校
大谷 彰宏	10組	情報理工学部情報メディア学科	横浜市立寺尾中学校
吉村 敬太	7組	工学部生命化学科	江戸川区立二之江中学校
吉田 南音	10組	工学部生命化学科	大田区立矢口中学校
五十嵐智洋	11組	工学部生命化学科	大田区立大森第八中学校
高谷 謙斗	9組	工学部材料科学科	板橋区立志村第三中学校
斉木 美男	6組	工学部建築学科	大田区立大森第三中学校
川野 亮	5組	工学部航空宇宙学科	川崎市立平間中学校
山本 和也	7組	工学部航空宇宙学科	新宿区立牛込第二中学校
沖山 永喜	9組	開発工学部医用生体工学科	八丈町立富士中学校
近藤 正康	5組	健康科学部社会福祉学科	北区立滝野川中学校
森田 好美	6組	健康科学部社会福祉学科	大田区立志茂田中学校
上野 聡美	8組	健康科学部社会福祉学科	江戸川区立清新第二中学校
本田 聖子	4組	ハワイ東海インターナショナルカレッジ教養学科	横浜市立南希望が丘中学校



### 吉村 敬太

3年7組(工学部生命化学科進学内定)

僕は将来、未開発のワクチンを開発する仕事に従事し社会に貢献したいと考えています。このたびの特別奨励入学制度で、内定とはいえ一足先に進路が決まりました。今後、科目等履修生の制度を利用すると大学で専門の学習をすることができるということで、夢に一步近づいた気持ちでいます。また、心にゆとりが持てることから、今までしていなかった読書をし、部活動に精進することで自らを高め、それがまた夢の実現へと少しでも繋がればと思います。

## 生徒会コーナー

### 生徒総会開かれる

広報委員会 平井里奈・山澤いずみ

6月3日(金)7時限目に生徒総会が行われました。

■2004年度生徒会費決算、今年度予算案や各委員長からの今年度の目標報告があり、みなさんに承認されました。

■昨年度まで休部状態であったアメリカンフットボール部が活動再開することになりました。今後の活躍が期待されます。

総会終了後、生徒会会長の太田麻友さんは、夏には他の東海大学系列校の生徒会と意見交換をし、生徒会がより全校生徒に身近な存在になるように活動をしたいと抱負を語ってくれました。

## 2005年度 保護者交流懇談会 開催

毎年ご好評をいただいております  
保護者交流懇談会を、後援会主催で  
今年も実施いたします。

**日時** 8月27日(土) 13:00~16:30

**場所** 東海大学附属高輪台高等学校

### 第1部 本校吹奏楽部演奏会

### 第2部 講演

秋山 仁 先生(数学者、東海大学教育開発研究所次長)

「子どもたちの前途がどうぞ多難でありますように」

西崎 泰弘 先生(東海大学医学部附属東京病院副院長)

「食習慣と生活習慣病」 消化器系疾患を中心に

### 第3部 保護者・教員交流会

- 第1部、2部は本校保護者以外の方(生徒を含む)も参加できます。
- 多数の皆様のご来場をお待ちしております。



# SSH活動

今年度から新たに設置されたSSHクラスの1年生は夢をふくらませてSSH活動をスタートしました。5月7日、日本科学未来館で見学・学習。さらに14日は校外学習で東海大学湘南校舎の研究室を見学しました。初めてSSH活動に携わった上松先生にこの活動の感想を述べてもらいます。

## 自ら考え行動する生徒たち

**上松 未来**  
理科・2学年所属

今年初めてSSHクラスの授業を受け持ち、さらにSSH活動に生徒の引率として参加しました。

5月7日、1年のSSHクラスの「リベラルサイエンスⅡ」の授業で、日本科学未来館にいきました。ここでは、自分で興味を持つ展示物を見つけ、それについてインタープリターに質問したり、自ら調べたりしたことを班の人にその展示物の前でプレゼンテーションするというものを行いました。たくさんのことに興味を持ち、展示物一つに絞れなく困った生徒もいましたが、みんな目を輝か

せながら積極的に質問をしている姿が印象的でした。初めてのプレゼンテーションにもかかわらず、自分の意見を上手にまとめて説明していました。聞いている生徒も質問をたくさん投げかけ、互いに刺激していました。生徒が自ら考え、自ら行動している姿を見て、この活動が生徒の持っている可能性を最大限伸ばしてくれる活動なのだと感じました。

これから先、いろいろな最先端技術に触れたり実習や実験をしたりして、生徒がどのように成長していくのが楽しみです。また、SSHクラス以外の生徒たちも、SSHの活動に興味を持ってもらい、参加できる活動には積極的に参加してもらいたいと思います。

## 未来館での感想

**山川 翔太郎**

1年10組、筑波大学附属中学校出身

今回の未来館見学は、初めてのSSH課外活動だったので、最初は緊張していましたが、実際に見学を始めると探求心をそそられて新たな知識をどん欲に吸収していきました。僕が今興味を持っているのはエネルギー問題についてです。それで僕は1階の新エネルギーについての展示を重点的に見学しました。その展示場では、世界規模で問題になっている地球温暖化やオゾン層の破壊、さらにあと数十年でなくなっていく石油等の資源の代わりとなる新しいエネルギーについて、今、世界で行われている数多くの実験の状況を知ることができました。例えば、水素電池のしくみや、地中で分解されるプラスチック、大型電気自動車の展示などがしてあり、多くの事を新しく知ることができ、さらに係りの人々の知識が豊富で、展示の分からないことなどを丁寧に教えてくださいました。

今回の活動で、僕はエネルギー問題への関心がさらに高まり、今後のSSH活動でも多くの新しい知識を得たいと思います。



科学未来館  
電気自動車の説明に聞き入る生徒たち

## 湘南校舎を見学して

**林 理奈**

1年10組、横浜山手中華中学校出身

私たちSSHクラスは校外学習で東海大学湘南校舎にある研究室を見学しました。私が見学した研究室は、主に物を作るための材料について研究している所でした。研究室は私が想像していたよりも広い場所でしたが、その中のほとんどが大型の機械や実験器具が占めていました。その研究室で、私たちは液体窒素を利用した実験を見せてもらいました。液体窒素は、とても危険な物質なので、特製と思われる厚い頑丈な手袋をして行っていました。また、プラズマの実験も見せてもらいました。この実験は、この研究室のほとんどの面積を占めている機械を利用したのですが、私たちのために簡単な実験を見せてもらいました。高校では見られないような物質や実験を見て、最先端の科学技術に触れられたような気が感動でした。これから、科学の技術がだんだん進歩していく中で、私も大学でたくさんのことを学び、科学技術の進歩に貢献できるように努力したいと思います。



実験室を見学する真剣なまなざし

## 学園教育機関連絡調整会議でのSSH報告

去る6月9日(木)、松前達郎東海大学総長をはじめ100余名の学園関係者による「学園教育機関連絡調整会議」が、大学本部で開催されました。この会議の中で、初等中等教育の活動の一つとして、本校2年SSHクラスの武佑哉君と平塚結衣さんが、昨年度実施したリベラルサイエンスⅡと科学体験学習についてパワーポイントを用いて英語により説明しました。ボディランゲージを交えた流暢な説明に、多くの方々が感心されていたようです。

今年度のSSH活動はすでにスタートしていますが、こうした活動が本校の教育に根づいて行くことが期待されます。

### 大舞台でのプレゼンテーション

平塚 結衣

2年11組(SSHクラス)、江戸川区立清新第二中学校出身

今回、私が発表したの『核融合とLHD (Large Helical Device)』についてです。このプレゼンテーションは昨年の夏に私がパワーポイントを使い研究発表した初めてのものだったので、一番思い入れのあるテーマです。

テーマからして難しい内容で、私自身がそれ自体を理解するのにかなりの時間がかかりました。そのうえ、その内容を核融合やLHDについて知らない方たちに解りやすく、しかも英語で伝えなくてはならないのですからすべてがチャレンジの連続でした。

今回、一年前に行ったプレゼンテーションの内容を思い出したり、英文を覚え直したりするのが大変でしたが、松前総長を始めとした、学園を代表する方々の前で発表できたこと、数々の励ましの言葉をいただけたことは私の誇りとなりました。

私の得意分野は生物です。ですから、今回の物理分野は私にとってはとても難しいのですが、何事も投げ出さず努力すれば必ず自分の力になると確信することができました。これからの高校生活一年半、様々な事にチャレンジしていきたいと思います。



豊かなボディランゲージを交えて平塚さんの発表



説得力のある武君の発表

## 学園オリンピック1次通過者発表

### さらに頂上を目指してがんばれ!!

今年度、東海大学学園オリンピックに全国からのべ2,500余名の応募がありました。

高輪台高校からは各部門に昨年よりも67名多い153名が応募しました。

一次審査の結果が発表され、下記の生徒諸君が二次審査に進むことになりました。おめでとう。合格者は夏休み、孺恋高原研修センターでそれぞれ部門ごとに東海大学の先生の指導で研修を受け、創作、学習などに励み、その成果で優秀者が決定します。



#### 国語部門

諸隈良哉 (2年12組) 宮川奈々 (3年3組)  
岩田幸子 (3年3組) 小川博子 (3年4組)  
祢津治菜 (3年3組) 林亜津希 (3年10組)

#### 数学部門

平野一貴 (2年11組)  
米澤幸造 (3年10組)

#### 理科部門

平塚結衣 (2年11組)  
秋田悠太 (2年11組)  
石井明日香 (3年8組)

#### 英語部門

安藤かおり (2年4組)  
植松亮太郎 (3年2組)  
渡辺 恵 (3年7組)  
鞠子新弥 (3年10組)

#### 芸術(造形)部門

橋本優花 (1年10組) 坂口未花 (3年7組)  
飯塚美里 (2年5組) 志田 陸 (3年9組)  
青野真希子 (3年4組)

#### 知的財産部門

奥山 猛 (2年11組)  
栗原奈苗 (3年1組)

# 2005年度学校運営方針 学校改革・改善

## 高校・大学7年間の一貫教育の充実 学園行事への積極的な参加

高校・大学7年間の一貫教育を充実させるためには、先月号で紹介した「高校現代文明論」の指導が大切なものとなりますが、これと並行して、丁寧な進路指導、および、学園行事に対する積極的な参加が必要不可欠なものとなります。これらのことは、互いにリンクしているわけで、具体的な指導内容に関して、次の5つのことがらが柱となります。

### 希望者全員が東海大学へ

一貫教育の特性を活かし、付属推薦入学で、全員の生徒が東海大学・短期大学の各学部・学科に進学できるように指導していきます。



### 第一学年からの進路指導の徹底

第一学年から進路指導を徹底し、自分の将来像を捉えて大学選びができるように指導し、第二学年には進路が決定できるように指導します。

### 進路指導の充実

大学の改組・転換が進む中、全教員が東海大学の学部・学科の内容を理解し、適切な進路指導ができるようにします。

### 学園行事への積極的参加

学園オリンピック(国語・数学・理科・英語・造形・音楽・知的財産)、ディベート東海、夏季英語海外研修、ヨーロッパ研修旅行など、学園行事に対する広報活動と、丁寧な指導を行います。



### 3年後期プログラムの充実

3年後期には、体験留学(科目等履修生)、SHIP(HTICへの短期留学)、FEST(HTICへの長期留学)、カナダ中期留学、東海大学エクステンションセンターなどへ意欲のある生徒を積極的に推薦し、成果をあげさせます。

今年も、すでに学園オリンピックが行われ、一次通過者が発表されました。応募者は特に3年生が多く、昨年にくらべて倍増しています。昨年度は優秀賞に輝いた生徒が3名いました。今年もこの後の選考テストに、たくさんの高輪台の生徒諸君が合格することを願っています。

次回9月号では「④授業改革や知的財産教育への積極的な取り組みの推進。」と「⑤基本的生活習慣を身につける。」について述べたいと思います。

## 活躍

## する卒業生

## Active Graduates

1996年卒

黒沢 武広

東海大学工学部航空宇宙学科卒・  
日本アドベンチャーサイクリスト  
クラブ(JACC)所属

「希望を星につないで活躍する卒業生」、今月は1996年卒業の黒沢さんです。自転車という最も困難な方法を選んでユーラシア大陸2万キロの単独横断に目下挑戦しています。一流企業を脱サラしての大きな夢へのチャレンジです。黒沢さんのこの挑戦が5月25日の毎日新聞に大きく紹介されました。

「シンガポールから自転車でユーラシア大陸最西端の地・ロカ岬を目指す」これが現在私のやっている旅です。1月末から4月中旬にかけてを第一次遠征とし、シンガポール～ベトナム・ハノイ間約4800 kmを走破しました。6月中旬には再出発し、中央アジア～中東～欧州と走りゴールする予定にしています。金もかかれれば時間もかかる自転車旅行。「わざわざ金を出して疲れに行っている」と友人に笑われる事もあります。確かに、飛行機やバスや電車で行っても各国の美しい物や珍しい物を見る事はでき、多くの出会いを体験する事もできます。それに何より効率的です。しかし、時間をかけて一漕ぎ一漕ぎ自分の

力で進み、辿り着く事ができた喜びは、達成感と感動を倍増させるものです。地道な努力の積み重ねの成果を実感できるところに自転車旅行の大きな魅力と可能性があると思っています。そんな私は、旅の途中母校の小学校へ旅の出来事等をメール等で報告しながら走っています。先日、一時帰国を機に児童の前で授業をし、生の反応を目

の当たりにしました。生きた教材として子供達の目を少しでも世界に向けようと思い、始めた試みでしたが、食い入るように話を聞く子供達を見ると、少しでも子供達に夢を与え、色々と考えるきっかけを与えられている事を喜ばずにはられません。あの時に見た子供達の瞳の輝きは、今後の私の原動力となっていく事でしょう。



総重量48キログラムの愛車と  
(タイのタオ島にて)



タイの子供達の笑顔に黒沢さん埋まる  
中央上から2人目が黒沢さん  
(タイの小学校で交流)

## 短大 INFORMATION

## 豊かな人間教育の場として

西脇 昂祐

共通科目(体育)教授



10人のゼミ生と共に

一般に卒業研究・ゼミナールといえば、専門領域を探究するものですが、東海大学では、文理融合教育が行われ、本学もその理念を基に専門知識の呼吸だけに専心するのではなく、幅広い職域で活躍する人材育成を目指し、その一端として「ゴルフ初級編」が開講されています。

具体的には週1回、学内で打ちっ放しによるドライバー・アイアン等のショット練習を行い、時にはビデオを使ってフォームをチェックし基本技術をマスターします。9月にゼミ合宿を河口湖ゴルフコースで行い、学内で練習出来ないアプローチやパッティング練習をした後、プレーを行います。

## お知らせ

7月9日  
(土)

### 第1回学校説明見学会

入試相談コーナーを開設しています。  
校内食堂を利用することができます。  
多くの方の来校をお待ちしております。

日程 ●10:00～12:30 学校説明会 ●12:30～15:00 校内見学会

9月6日  
(火)

### 2005年度 学園基礎学力総合試験(3年)

夏休みがあげるとすぐです。○出題範囲:高校3年間の基礎学力定着度をみるものです。試験範囲は基本的に現在履修している範囲の全部です。1・2・3年で受験した「学園基礎学力テスト」の問題、1・2年次の定期テスト、3年の中間テストなどを見返して準備をしましょう。

### いよいよ 剛健旅行

孺恋村のキャベツ畑を見下ろすようにそびえるのが浅間山。恐竜が寝そべっているように見えます。大自然が君たちを待っています。山の天気は変わりやすい、また夕方から気温がさがります。寒さ対策、雨対策を忘れずに!!

## 行事予定

July 7月

- 1日(金) 朝礼
- 6日(水) 専門医によるカウンセリング
- 7日(木) 校医相談日(15:00～17:00)
- 9日(土) 受験生・保護者学校説明見学会(10:00)
- 13日(水) 剛健旅行開会式(4限目)3時限授業
- 14日(木) 第37回剛健旅行(～15日)
- 19日(火) 剛健旅行閉会式、大掃除
- 20日(水) 特設・希望者講習・補習(～30日)
- 31日(日) 学園オリンピック文化部門夏季セミナー(～8月5日)



剛健旅行

August 8月

- 6日(土) 学園オリンピックスポーツ競技大会(～8日)  
生徒会運営研修・懇談会(～8日)
- 15日(月) 学園教職員一斉休暇(～19日)
- 27日(土) 特設希望者模試外部(3年)、保護者交流懇親会



学園オリンピック夏季セミナー

September 9月

- 1日(木) 避難訓練・朝礼後短縮授業
- 3日(土) 後援会委員総会
- 5日(月) 中学校巡回、生徒自宅学習日
- 6日(火) 外部実力試験(1・2年)  
学園基礎学力総合試験(3年)
- 8日(木) 生徒による授業評価アンケート
- 9日(金) 学年集会(3年)
- 15日(木) 期末試験(～21日)
- 19日(月) 敬老の日
- 22日(木) 採点日(生徒休業日)
- 23日(金) 秋分の日
- 26日(月) 答案返却
- 29日(木) 第4回体育祭
- 30日(金) 振替休日(建学祭)(第4回体育祭予備)

## 編集後記

6月10日、愛・地球博の日本紹介の“集いの日”、盲目のピアニストの伴奏で中国、アメリカ、日本の子どもたちが「上を向いて歩こう」を英語、中国語、日本語で合唱した。高輪台高校1年の林さんもこの日この舞台上で歌って踊った。林さんは人種、民族を越え、国境を越えて多くの子どもたちと心をつなぐことに感動しましたと目を輝かせていた。私もニュースで見て、人々の心を音楽が融和する様に胸が熱くなった。(ゆ)

東海大学付属高輪台高等学校

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>